

2021年6月28日

課題名：Four-Hand Reduction for Obturator hernia with the Guidance of Sonography(FROGS) as a new treatment strategy for obturator hernia: A retrospective study

(嵌頓閉鎖孔ヘルニアに対する新しい還納手技 FROGS の評価：後方視的研究)

◆研究の目的と概要◆

当院では、閉鎖孔ヘルニア嵌頓例に対する用手的還納法である FROGS 法についてその有用性を調べています。FROGS 法の有用性が示されれば、閉鎖孔ヘルニア嵌頓の新しい治療選択となり、緊急手術を避けられる患者さんが増えることが期待されます。

◆対象となる患者さん◆

2016年4月から2021年12月までの間に、閉鎖孔ヘルニア嵌頓であると診断された方。

◆研究に使用される情報◆

カルテデータに基づいて、年齢、性別、BMI、病変の部位、基礎疾患、手術を行われた場合はその術式、合併症、在院日数、ヘルニアサイズを比較します。

◆研究方法◆

本研究はカルテデータを基にした統計学的解析を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中もしくは論文執筆中のデータ、また、既に学会や論文で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
外科 研究責任者 長久吉雄

E-mail : kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明